

\*\*\*\*\*

第 11 回 森羅万象学校  
「リモートセンシングはどこまで地球を斬ったか」

(First Announcement)

開催日：2011 年 2 月 13 日(日)-2 月 15 日(火)

場所：北海道 支笏湖

主催：森羅万象学校企画グループ

後援：惑星科学研究センター(CPS)/神戸-北大 GCOE

\*\*\*\*\*

進展著しい地球リモートセンシングの最先端と、それらが地球科学と周辺分野へ何をもたらしたのかについて、地上観測にも通じた大気科学および測地学の専門家に、それぞれの観点から解説いただきます。参加者各人の問題意識をリンクさせ、新たな着想の手掛かりを得ることを目的とします。

話題 1 塩谷雅人 (京都大学生存圏研究所)

「宇宙からみる地球の大気」

我々が人工衛星という手段を得てから半世紀あまりが経過した。今では気象衛星の雲画像に代表されるように、宇宙から眺めたグローバルな情報が私たちの回りにあふれている。一方では、オゾンホールや温暖化といったグローバルな環境変化が近年大きな社会問題となっている。ここでは、衛星からの観測と地上からの観測を相補的に捉えながら、それらによって得られる地球大気に関するさまざまなデータにもとづき、衛星観測がわれわれにもたらしたものについて考えてみたい。

話題 2 福田洋一 (京都大学理学研究科)

「地上および衛星重力測定による地球変動モニタリング」

重力測定は、地球の形や地下の密度構造を知る手段として広く使われており、このことの意義は現在でも変わっていない。一方、1990年代に超伝導重力計や絶対重力計など高精度の重力計が出回ると、重力の時間変化が重要な研究対象となってきた。さらに、現在では、衛星からの重力測定で、陸水や海洋、氷床変動など、様々な原因による質量移動が重力変化として直接捉えられるように

なっている。最近の地上および衛星重力測定の状態とその応用について述べる。

## ■ プログラム

[午前 9:00～12:00]	[午後 13:30～18:00]
2/13(日) 13:00 までに集合	講演 塩谷
2/14(月) 講演 塩谷	講演 福田
2/15(火) 講演 福田, 総合討論	

- ※ おおよそのスケジュールですので変更が有り得ます。
- ※ 夕食後は講演の予備時間としますが、基本的には自由時間です。  
講演者の方との懇親会も予定しています。
- ※ プログラムは入れ替わる可能性があります。

## ■ 参加費

全日参加 : 22,000 円 朝昼夕食, 懇親会費込

- 参加費は現地で徴収致します。
- 参加費は宿泊費, 運営経費等にあてさせていただきます。交通費は含みません。
- 部分参加についてはご相談下さい

## ■ 会場

会場 : 休暇村支笏湖

HP : <http://www.qkamura.or.jp/shikotsu/>

住所 : 〒066-0281 北海道千歳市支笏湖温泉

電話 : 0123-25-2201

- 千歳空港から近い支笏湖畔の宿です。
- 初日に JR 千歳駅から送迎バス(12:30 発予定)を出してもらいます。  
最終日も JR 千歳駅まで送迎バスを出します (12:30 発予定)

## ■ 申し込み・お問い合わせ

本メール最後にあるフォームに従った形式で、以下のメールアドレスへお送りください。なお、定員に達した時点で申し込み受付を締め切

らせて頂きます. 御容赦ください.

不明な点がありましたら, お気軽にお問い合わせください.

申し込み締め切り: 2011/2/3 (木)

問い合わせ/申し込み: 森羅万象学校企画グループ

sinra-apply11 [at] sinra.jp

(送信時に[at]を半角@に変えてください)

○ 記入上の注意

- 「参加日程」欄は該当部分のみを残してください.

=====  
なまえ: しんら まなぶ

名前: 森羅 学

name: SHINRA Manabu

性別: 男・女 (一方を残してください)

身分: M1

所属: 羅森大学大学院 理工学研究科 宇宙惑星地球科学専攻

所属 TEL: xxx-xxx-xxxx

所属〒: xxx-xxxx

所属住所: 羅森市白金区緑山台 4-58

所属 FAX: xxx-xxx-xxxx

email: shira@domain.ac.jp

参加日程: 必要な部分以外消してください

全日参加

部分参加 (宿泊日) 13 日, 14 日

日帰り参加 (参加日) 13 日, 14 日, 15 日

送迎バスの利用: 行き する, しない: 帰り する, しない

MEMO: 地球惑星科学 (専門分野など)  
=====